

質問事項に対する回答書36

(件名)磐越自動車道 黒森山トンネル工事

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
1	11月27日	数量明細表	P-7	63	コンクリート(C2-1(S))の数量27.1m3を、床版コンクリート断面積0.842m2で除した場合、延長L=32.2mとなりますが、3箇所の避難連絡坑の延長の合計よりも長いと思われませんが、いかがでしょうか。また、数量が正の場合、想定している3箇所の各延長をご教授ください。また、床版コンクリート以外の数量や、拡幅部等の数量が別であれば、提示願います。	コンクリートC2-1(S)の数量は設計図書のとおりです。 なお、避難連絡坑における床版コンクリートの施工延長は、それぞれ9.263m、11.658m、11.227mとなります。
2	11月27日	数量明細表	P-8	71	コンクリート(T3-4(CII-S))の数量69.7m3を、設計断面積2.119m2で除した場合、延長L=32.9mとなりますが、3箇所の避難連絡坑の延長の合計よりも長いと思われませんが、いかがでしょうか。また、数量が正の場合、想定している3箇所の各延長をご教授ください。また、拡幅部や箱抜き等の数量が別であれば、提示願います。	コンクリートT3-4(CII-S)の数量は、扉部の施工を含んでおります。
3	11月27日	数量明細表	P-8	76	型わく(T(S))の数量のうち、393.50m2が全断面施工部との回答がありましたが、393.5m2を、型わく周長10.283mで除した場合、延長L=38.270mとなりますが、3箇所の避難連絡坑の延長の合計よりもかなり長いと思われませんが、いかがでしょうか。また、数量が正の場合、想定している3箇所の各延長をご教授ください。また、拡幅部や箱抜き等の数量が別であれば、提示願います。	型わくT(S)の数量は、扉部の施工を含んでおります。
4	11月27日	数量明細表	P-9	87	トンネル掘削(CII-B-S1)の数量582.4m3を、設計断面積18.381m2で除した場合、延長L=31.650mとなりますが、3箇所の避難連絡坑の延長の合計よりも長いと思われませんが、想定している3箇所の各延長をご教授ください。また、拡幅部や箱抜き等の数量が別であれば、提示願います。	トンネル掘削(CII-b-S1)の数量は、扉部の施工を含んでおります。
5	11月27日	数量明細表	P-10	94	吹付コンクリートB(CII-S)の数量401.0m2を、単位吹付長10.911m2/mで除した場合、延長L=36.752mとなりますが、3箇所の避難連絡坑の延長の合計よりも長いと思われませんが、想定している3箇所の各延長をご教授ください。また、拡幅部や箱抜き等の数量が別であれば、提示願います。	吹付コンクリートB(CII-S)の数量は、扉部の施工を含んでおります。
6	11月27日	設計図(トンネル編)	P-22		閲覧資料の施工計画書では、避難連絡坑のサイクルタイムを鏡吹付厚2.5cmで計算されていますが、設計図に記載のとおり吹付厚3.0cmでサイクルタイムを想定していると考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。
7	11月27日	参考図	P-4		避難連絡坑の加背割図に、「溶接金網」が記載されていますが、溶接金網は、どの単価項目で計上されているのでしょうか。	コンクリートC2-1(S)に含んでおります。
8	11月27日	数量明細表	P-8	74	回答14-12にて、「型枠Tの数量のうち、全断面施工部の型枠数量は、47,790.9m2」との回答がありましたが、これには終点側坑門部や起点側明かり巻部の内型枠は含まれていないと思われませんが、一方、回答28-13にて、「明かり巻き工の内型わくは、型枠Tに含む」との回答があり、矛盾しているように思われます。どちらが正しいと考えればよろしいでしょうか。	「質問に対する回答書28(番号13)」のとおり、明かり巻工の内型わくは型わくTに含んでおります。 なお、型枠Tの数量は52,903.1m2が正となります。 上記については、後日、交付図書を訂正いたします。

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
9	11月27日	数量明細表	P-8	72	回答14-11にて、型わくCのうち坑門工の数量は765.4m2との回答がありました。該当すると思われる項目が、①起点側坑門工の内側型わく、②起点側坑門工外側型わく、③起点側坑門工の妻部型わく、④終点側坑門工の内側型わく、⑤終点側坑門工の面壁や背面・ウイング部の型わく、⑥抱き擁壁の型わく、⑦置換えコンクリートの型わく の7項目ありますが、これらの数量を合計すると、765.4m2よりもかなり多くなります。これら①～⑦のうち、型わくCに含まれているものはどれでしょうか。また、①～⑦のうち、別の単価項目で計上されているものがあれば、どの単価項目で計上しているのか、ご教授願います。	質問事項の項目のうち、②⑤⑥⑦の数量は型わくCにて計上しております。また、①③④の数量は型わくTにて計上しております。
10	11月27日	数量明細表	P-8	72	前問で、型わくCのうち坑門工数量765.4m2の内訳数量をご教授願います。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
11	11月27日	特記仕様書	P-42	27-18	路盤排水工に、「掘削土を利用して、トンネル終点側坑口部の裏込め、締固め、・・・及び土工部路床の敷均し、締固め、・・・」とありますが、トンネル終点側坑口部裏込め及び土工部路床に使用する掘削土の掘削および運搬は、どの単価項目で計上されているのでしょうか。	路盤排水工に含んでおります。
12	11月27日	特記仕様書	P-42	27-18	前問で、掘削及び運搬を計上している単価項目について、その単価項目の該当数量については、敷均しや締固め、整形等の費用が含まれていないということでしょうか。	本回答書(番号11)のとおりです。
13	11月27日	設計図(トンネル)	P-32,33,44		設計図に坑門工一般図がありますが、土工数量がわかりにくく、特に終点側は断面図が1箇所しかありません。起点側及び終点側の土工数量(掘削、埋戻し、裏込め等の各数量)をご教授していただけないでしょうか。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
14	11月27日	設計図(スノーシエッド)	P-1		BX-24の鉄筋工「機械式鉄筋定着体」のD13本数について、P-1の総括表では2,640本になっていますが、P-185の鉄筋質量表でD13のC(機械式鉄筋定着)本数は、合計すると2,533本です。どちらの本数が正しいのでしょうか。	設計図(スノーシエッド編)1/217に示す機械式鉄筋定着体D13の数量に誤りがありました。BX-24の数量は2533本が正となります。上記については、後日、交付図書を訂正いたします。
15	11月27日	金抜設計書	P-7~8	81~86	回答27-3にて、「調査ボーリング中の掘削関係機械の(供用日)損料は、単価表のトンネル掘削に計上する」とありましたが、損料を計上する掘削関係機械とは、①ドリフタ、②ホイールジャンボ、③バックホウ、④大型ブレーカ、⑤トラクタショベル のすべてが該当するのでしょうか。対象外のものがあれば、ご教授ください。	積算に関する質問についてはお答えできませんので、貴社の施工計画に基づき、必要な費用を計上願います。
16	11月27日	金抜設計書	P-7~8	81~86	回答27-3にて、「調査ボーリング中の掘削関係機械の(供用日)損料は、単価表のトンネル掘削に計上する」とありましたが、全体サイクルタイムに影響を受ける ①ドリフタの運転日損料、②大型ブレーカ(ベースマシン別)の運転日損料 についても、調査ボーリング中損料を計上するのでしょうか。	調査ボーリング中に生じる掘削関係機械の損料は、供用日損料のみとお考えください。運転日損料は、土木工事積算基準(令和6年度版)第19編のとおりです。
17	11月27日	金抜設計書	P-8	88~93	回答27-3にて、「調査ボーリング中の掘削関係機械の(供用日)損料は、単価表のトンネル掘削に計上する」とありましたが、調査ボーリング中の吹付関係機械(コンクリート吹付機等)の供用日損料も計上されるのでしょうか。	そのとおりです。

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
18	11月27日	金抜設計書	P-8	88~93	前問について、計上される場合、調査ボーリング中の吹付関係機械の供用日損料は、単価表の「吹付けコンクリート工」に計上すると考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。
19	11月27日	特記仕様書 P29 27-4	P-29	27-4	構造物掘削 普通部A2 について、土質は全て軟岩Aでよろしいでしょうか。異なる場合は土質とそれぞれの土量をご教示ください。	設計図(トンネル編)32、33/95のとおり、すべて軟岩とお考えください。
20	11月27日	設計図(トンネル)	P-55		中央排水工B、横断排水工B にて使用するフィルター材の材料名(C-40など)をご教授ください。	共通仕様書12-15-2のとおりです。
21	11月27日	金抜設計書	P-11	121	インバート埋戻し工 にて使用する埋戻し材料の材料名(C-40など)をご教授ください。	R6.11.20当社HP掲載の「質問に対する回答書28(番号5)」のとおりです。